



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月5日

上場取引所 福

上場会社名 株式会社 筑邦銀行

コード番号 8398 URL <http://www.chikugin.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役頭取

(氏名) 佐藤 清一郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総合企画部長

(氏名) 石井 智幸

四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日

特定取引勘定設置の有無 無

TEL 0942-32-5353

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(単位未満は切捨てて表示)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	4,700	7.0	628	103.2	334	120.0
25年3月期第1四半期	4,391	△3.4	309	△7.4	152	△13.2

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 △675百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 △283百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	5.37	5.34
25年3月期第1四半期	2.44	2.44

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	694,945	33,873	4.4
25年3月期	676,114	34,769	4.7

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 31,078百万円 25年3月期 32,004百万円

(注)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末少数株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	2.50	—	3.50	6.00
26年3月期	—				
26年3月期(予想)		2.50	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※25年3月期期末配当金の内訳 記念配当 1円00銭

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,840	△1.7	620	32.2	335	36.5	5.37
通期	17,700	△1.0	1,390	3.5	730	1.9	11.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

26年3月期1Q	62,490,200 株	25年3月期	62,490,200 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期1Q	199,377 株	25年3月期	198,619 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期1Q	62,291,340 株	25年3月期1Q	62,287,885 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【添付資料】

目 次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(その他)に関する事項	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6
4. 補足情報	7
平成26年3月期 第1四半期決算説明資料	7
(1) 平成26年3月期 第1四半期損益状況(単体)	7
(2) 金融再生法ベースのカテゴリによる開示	8
(3) 自己資本比率(国内基準)	8
(4) 有価証券の評価差額(連結)	9
(5) 預金・貸出金の残高(単体)	9
(6) 個人預かり資産残高	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、円高の修正や東日本大震災の復興需要を背景に輸出や生産に持ち直しの動きが見られました。また、政府の経済政策などから消費者マインドが改善され個人消費も持ち直すなど、全体としては緩やかな回復の動きが続きました。

金融情勢につきましては、日本銀行による異次元の金融緩和策、海外経済の動向や米国金融緩和政策の縮小観測などにより不安定な動きが続きました。為替相場(ドル円相場)は、103円台まで円高が修正された後乱高下し、当第1四半期連結会計期間末には98円台となりました。日経平均株価は、15,000円を上回る水準まで上昇した後下落し、当第1四半期連結会計期間末には13,000円台となりました。長期金利の代表的な指標である新発10年国債利回りは、流動性の低下懸念などから前連結会計年度末の0.5%台から上昇し、当第1四半期連結会計期間末には0.8%台となりました。

以上のような金融経済環境のもと、当行グループは、経営の効率化、業績の向上に努めました結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は以下のとおりとなりました。

経常収益は、運用利回りの低下により貸出金などの資金運用収益が減少しましたが、有価証券の売却益が増加したことなどから、前年同四半期連結累計期間比3億9百万円増収の47億円となりました。また、経常費用は、貸倒引当金繰入額が増加しましたが、資金調達費用が減少したことに加えて、経費圧縮に努めた結果、営業経費が減少したことなどから、前年同四半期連結累計期間比10百万円減少の40億71百万円となりました。この結果、経常利益は、前年同四半期連結累計期間比3億19百万円増益の6億28百万円となりました。四半期純利益は、経常増益になったことなどから、前年同四半期連結累計期間比1億82百万円増益の3億34百万円となりました。なお、四半期包括利益は、その他有価証券の評価益が減少したことなどから、前年同四半期連結累計期間比3億92百万円減少の6億75百万円の損失となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

主要勘定の当第1四半期連結会計期間末の残高は、預金等(譲渡性預金を含む)は、資金調達のコアとなる個人預金が引き続き増加したことなどから、前連結会計年度末比202億円増加の6,221億円となりました。貸出金は、地元の個人事業主や中小・中堅企業を中心とした取引の拡大や、住宅ローンをはじめとした個人のお客さまの資金ニーズにお応えするなど積極的な営業活動に努めました。地方公共団体向けなどの貸出金が減少したことなどから、前連結会計年度末比126億円減少の3,972億円となりました。有価証券は、引き続き預金による資金調達が好調に推移したことなどから、国債などの債券を中心に投資を行い、前連結会計年度末比222億円増加の2,308億円となりました。また、純資産は、内部留保により利益剰余金が増加しましたが、その他有価証券評価差額金が減少したことなどから、前連結会計年度末比8億円減少の338億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年3月期の業績予想につきましては、今後の金融経済情勢等により大きく変動する可能性があります。平成25年5月10日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
現金預け金	15,764	10,183
コールローン及び買入手形	10,000	24,400
買入金銭債権	313	348
商品有価証券	163	165
有価証券	208,627	230,864
貸出金	409,894	397,202
外国為替	606	601
リース債権及びリース投資資産	7,081	7,406
その他資産	6,583	6,443
有形固定資産	10,400	10,300
無形固定資産	1,125	987
繰延税金資産	725	1,300
支払承諾見返	8,634	8,652
貸倒引当金	△3,807	△3,911
資産の部合計	676,114	694,945
負債の部		
預金	598,279	616,563
譲渡性預金	3,662	5,578
コールマネー及び売渡手形	15,000	15,000
借用金	8,158	7,778
外国為替	0	—
その他負債	4,250	4,176
退職給付引当金	1,717	1,682
役員退職慰労引当金	39	34
偶発損失引当金	188	192
再評価に係る繰延税金負債	1,413	1,413
支払承諾	8,634	8,652
負債の部合計	641,344	661,072
純資産の部		
資本金	8,000	8,000
資本剰余金	5,759	5,759
利益剰余金	12,079	12,196
自己株式	△77	△78
株主資本合計	25,761	25,877
その他有価証券評価差額金	4,126	3,083
土地再評価差額金	2,116	2,116
その他の包括利益累計額合計	6,243	5,200
新株予約権	72	72
少数株主持分	2,692	2,722
純資産の部合計	34,769	33,873
負債及び純資産の部合計	676,114	694,945

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
経常収益	4,391	4,700
資金運用収益	2,449	2,404
(うち貸出金利息)	1,998	1,918
(うち有価証券利息配当金)	405	406
役務取引等収益	444	444
その他業務収益	1,473	1,679
その他経常収益	23	171
経常費用	4,081	4,071
資金調達費用	112	100
(うち預金利息)	92	81
役務取引等費用	155	168
その他業務費用	1,217	1,184
営業経費	2,359	2,345
その他経常費用	237	271
経常利益	309	628
特別損失	0	0
固定資産処分損	0	0
税金等調整前四半期純利益	309	628
法人税、住民税及び事業税	46	300
法人税等調整額	86	△37
法人税等合計	132	262
少数株主損益調整前四半期純利益	176	365
少数株主利益	24	30
四半期純利益	152	334

四半期連結包括利益計算書
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	176	365
その他の包括利益	△459	△1,041
その他有価証券評価差額金	△459	△1,041
四半期包括利益	△283	△675
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△305	△708
少数株主に係る四半期包括利益	22	32

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

平成26年3月期 第1四半期決算説明資料

(1) 平成26年3月期 第1四半期損益状況(単体)

(単位：百万円)

	26年3月期 第1四半期 (3ヶ月間)	増減	25年3月期 第1四半期 (3ヶ月間)	26年3月期 第2四半期累計 期間の業績予想	25年3月期 通期実績 (12ヶ月間)
業務粗利益	2,943	189	2,754		10,859
(除く国債等債券損益)	(2,502)	(△82)	(2,584)		(10,118)
うち資金利益	2,252	△66	2,318		9,066
うち役務取引等利益	244	△17	261		1,000
経費(除く臨時処理分)	2,261	△6	2,267		8,950
うち人件費	1,125	5	1,120		4,448
うち物件費	1,033	△2	1,035		4,087
実質業務純益	681	194	487	990	1,908
コア業務純益	240	△77	317	490	1,167
一般貸倒引当金繰入額	0	108	△108	0	△366
業務純益	681	85	596	990	2,275
うち国債等債券損益	441	271	170		740
臨時損益	△107	218	△325		△1,180
うち不良債権処理額	219	△49	268	380	1,004
(与信関係費用)	220	61	159	380	637
うち株式等関係損益	95	130	△35		△32
経常利益	573	303	270	550	1,094
特別損益	△0	0	△0		△4
四半期(当期)純利益	331	178	153	330	603

注1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 与信関係費用＝一般貸倒引当金繰入額＋不良債権処理額－貸倒引当金戻入益－償却債権取立益

実質業務純益 6億81百万円

実質業務純益は、資金利益が減少したものの、国債等債券売却益が増加したことなどから、前年同四半期比1億94百万円増益の6億81百万円となりました。また、第2四半期累計期間の業績予想9億90百万円に対する進捗率は68.7%となりました。

経常利益 5億73百万円

経常利益は、業務純益が増益となったことに加え、株式等売却益が増加したことなどから、前年同四半期比3億3百万円増益の5億73百万円となりました。また、第2四半期累計期間の業績予想5億50百万円に対する進捗率は104.1%となりました。

四半期純利益 3億31百万円

四半期純利益は、経常増益になったことなどから、前年同四半期比1億78百万円増益の3億31百万円となりました。また、第2四半期累計期間の業績予想3億30百万円に対する進捗率は100.3%となりました。

【平成26年3月期の単体業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)】

平成26年3月期の単体業績予想につきましては、今後の金融経済情勢等により大きく変動する可能性があります。平成25年5月10日に公表いたしました業績予想に変更はありません。なお、単体業績予想は次のとおりであります。

	経 常 収 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
第2四半期 (累 計)	6,270 百万円 △0.5 %	550 百万円 51.8 %	330 百万円 41.8 %	5 円 29 銭
通 期	12,470 △0.2	1,210 10.5	720 19.3	11 55

(2) 金融再生法ベースのカテゴリーによる開示

【単体】

(単位：百万円)

	平成25年6月末	平成24年6月末	平成25年3月末(実績)
破産更生債権及び これらに準ずる債権	2,532	2,379	2,818
危険債権	14,059	12,932	14,117
要管理債権	1,894	2,051	1,883
金融再生法開示債権 (部分直接償却額)	18,486 (3,283)	17,363 (3,820)	18,819 (3,247)
正常債権	392,029	378,397	403,837
総債権合計	410,515	395,760	422,657
開示債権比率	4.50%	4.38%	4.45%

【連結】

(単位：百万円)

	平成25年6月末	平成24年6月末	平成25年3月末(実績)
破産更生債権及び これらに準ずる債権	2,638	2,543	2,918
危険債権	14,059	12,932	14,117
要管理債権	1,894	2,051	1,883
金融再生法開示債権 (部分直接償却額)	18,591 (3,283)	17,527 (3,820)	18,920 (3,247)
正常債権	387,846	374,359	400,122
総債権合計	406,438	391,887	419,042
開示債権比率	4.57%	4.47%	4.51%

(注) 各四半期末の計数は、資産の自己査定結果に基づき、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権のカテゴリーにより分類しております。

(3) 自己資本比率(国内基準)

	平成25年9月末(予想値)	平成25年3月末(実績)	平成24年9月末(実績)
連結自己資本比率	9.1%程度	8.89%	9.25%
連結Tier1比率	8.3%程度	8.09%	8.35%

(注) 上記予想値は、経営環境に関する前提条件の変化等に伴い変動することがあります。

(4) 有価証券の評価差額(連結)

○評価差額

(単位：百万円)

	平成25年6月末		平成24年6月末	
	時価	評価差額	時価	評価差額
その他有価証券	229,993	4,743	203,539	1,623
株式	11,411	4,254	8,106	1,396
債券	185,653	173	160,588	833
外国証券	29,495	123	33,839	△584
その他	3,433	190	1,005	△21

(単位：百万円)

	平成25年3月末(実績)	
	時価	評価差額
その他有価証券	207,755	6,321
株式	10,848	3,998
債券	162,074	1,205
外国証券	30,804	△30
その他	4,028	1,148

(単位：百万円)

	平成25年6月末		平成24年6月末	
	帳簿価額	差額	帳簿価額	差額
満期保有目的の債券	150	△0	1,350	△1

(単位：百万円)

	平成25年3月末(実績)	
	帳簿価額	差額
満期保有目的の債券	150	△0

(5) 預金・貸出金の残高(単体)

(単位：百万円)

	25年6月末			24年6月末	25年3月末
		24年6月末比	25年3月末比		
預金	616,972	16,835	18,186	600,137	598,786
うち個人預金	448,822	9,064	5,478	439,758	443,344
譲渡性預金	6,133	△1,670	1,901	7,803	4,232
預金等合計	623,105	15,165	20,087	607,940	603,018

(単位：百万円、%)

	25年6月末			24年6月末	25年3月末
		24年6月末比	25年3月末比		
貸出金	401,363	14,606	△12,220	386,757	413,583
中小企業等貸出金残高	359,773	11,127	△7,564	348,646	367,337
中小企業等貸出金比率	89.63	△0.51	0.82	90.14	88.81

(6) 個人預かり資産残高

(単位：百万円、%)

	25年6月末			24年6月末	25年3月末
		24年6月末比	25年3月末比		
個人預金残高	448,822	9,064	5,478	439,758	443,344
個人預かり資産残高	43,415	5,305	370	38,110	43,045
個人預かり資産比率	9.6	1.0	△0.1	8.6	9.7
うち投資信託残高	19,498	2,190	△604	17,308	20,102
うち投資信託比率	4.3	0.4	△0.2	3.9	4.5

(注) 個人預かり資産残高は投資信託、生命保険（販売累計額）、公共債及び外貨預金の合計であります。

以 上

本件に関するお問合わせ先
総合企画部 (0942)32-5353